

「2020年度 月と寺子屋キャンプ」開催における報告



2021年3月吉日
月と寺子屋キャンプ実行委員会

月と寺子屋 キャンプ

京町家で学ぶ、日本の文化・芸術体験教室 「月と寺子屋キャンプ」を2020年12月5日（土）に開催しました。

今年の開催は、コロナ禍真っ只中。
「心が健やかになる」講座をテーマの中心に開催しました。

店舗、学校、施設、民家へポスティングしました。インターネット「疲れ」が目立つ昨今、「紙」による集客活動は効果的でした。

第二回開催 2020年12月5日(土) この時期の開催は、コロナ禍真っ只中。「心が健やかになる」講座を中心のテーマとして開催しました。

心を健やかに、暮らしを豊かにするための「未来のためのエコ(環境)塾」

日本は過去10年間、東日本大震災、台風、地震、そして、2020年は新型コロナウイルス肺炎という有史以来、最大の危機が全世界で起き、私たち人間は、自然災害に苦しんでいます。今だからこそ、「環境」に関心をもち、学び、新しい暮らし方を実践していくための座学となりました。当日は京都新聞に掲載いただき、大きな記事となりました！

京都大学農学系サークルによる「でこべじカフェ」

「でこべじ」とは、形が悪い、僅がある等の理由で廃棄される「規格外野菜」。つまり「でこべじベジタル」のこと。その割合は、全生産量の約4割とも言われています。見た目が安でも、農家さんが丹精込めて作ったお野菜。「捨てるなんて、もったいない！」そんな思いから、日々「でこべじ料理」を提供しています。この日は旬な野菜を使った、色とりどりのメニューがテーブルに並びました。

2021年は良い年にするために！「一緒に描こう！私の曼荼羅」

京町家という空間で、リラックスしながら「点燈曼荼羅(てんびょうまんだら)」を描きました。曼荼羅の基礎講座とシンキングリンの書きに包まれて、癒しのひと時を過ごし、出来上がった「私の曼荼羅」にご参加者さま、満面の笑みでした。

京都新聞が、本取り組みに高い関心を持ち、翌日の朝刊にて、紹介していただきました。

日本の文化と暮らしを京町家で体験しませんか？

第二回 月と寺子屋キャンプ
12月5日(土)

子どもから大人まで、みんなで一緒に楽しみましょう！
京町家・山内地区のワークショップです。
おひとり様でのご参加ももちろん、ご家族やお友達と一緒にご参加ください。ご宿泊も大歓迎です！

12月12日の京町家で過ごしてみよう！

- 長年続いた年に「一緒に描こう！私の曼荼羅」
- 京都大学農学系サークル「でこべじカフェ」
- 心を健やかにするための「未来のためのエコ(環境)塾」

ご参加の皆さまへお願い

本イベントでは、新型コロナウイルス感染症の予防対策として、ご来場者様へご来場時の検温、手洗いの徹底、換気の徹底、消毒の徹底の4点を徹底いたします。

お問い合わせ先：月と寺子屋キャンプ実行委員会 TEL: 075-711-2335 住所：山内

参加費：2,500円(税込) ※お申し込みの受付は、11月20日までです。

申込：11月20日(土) 18時迄

申込先：月と寺子屋キャンプ実行委員会 TEL: 075-711-2335

申込先：月と寺子屋キャンプ実行委員会 TEL: 075-711-2335

申込先：月と寺子屋キャンプ実行委員会 TEL: 075-711-2335

コロナ感染予防対策をしっかりと行いながら、開催しました。
当日の欠席者を含め、「未来のためのエコ塾」「一緒に描こう！私の曼荼羅」へは各6名ずつの参加者がいました。京都大学学生による「でこべじカフェ」には、約20名のお客様がいらっしゃいました。

築120年 京町家の魅力体験
講座やカフェ通し

コロナ下図書館運営苦心
人数限定 検閲回避や本除菌

持続可能社会 市民話し合う
地場 飲食店家が全力「情報」

- ### 今回の特徴
- 1、「感染しない」「感染させない」をモットーに実行しました。
 - 2、当日、本当に実行できるかどうかは不確かでしたので、大きなPR(集客活動)は控えました。
 - 3、講座は「未来(エコ)」「体の健康」「情操」に焦点を絞りました。

- ### 次回への課題
- 1、ZOOMなども駆使して、オンラインをリアルとのハイブリッドに実行できることを試みたい。
 - 2、「地域」との、この取り組みの「意味・魅力」をインターネットを通じて、国内外へ発信したい。
 - 3、ボランティア活動から「利益出る」活動へと前進させたい。